

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

公表：2024年 3月 1日

事業所名 発達支援ルーム ピースプラント肥後橋 保護者等数(児童数) 24 回収数 20 割合 83 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	○				活動に取り組みやすいスペースが確保されている。	活動に安全面を持って、取り組んでいきたい。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	○				職員が良く対応してくれている。	今後も保護者の方や子どもの情報交換を行い、成長を促していきたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○				1階にありバリアフリー化されている事や視覚支援があり、子どもに分かりやすい配置になっている。	今後も子どもに分かりやすい設定で発達を促せるようにしていきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○				療育室内は広く、活動をしやすい環境になっている。	今後も療育室内を清潔で、安全に療育出来るようにしていきたい。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	○				支援計画やモニタリングなど半年に一度以上、説明を受けている。	子どもの成長に合わせて、保護者の方と話をし支援計画を作成していきたい。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○				療育内容や支援内容、家族支援が設定されている。	今後も子どもや家族に支援出来るようにしていきたい。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○				支援計画に基づき、支援内容が設定されている。	今後も子どもの成長を促せられるようにしていきたい。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	○				活動内容が子どもに沿った内容になっている。	今後も子どもに必要な活動内容を提供できるようにしていきたい。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		子どもに合わせて機会を設けている。	子どもに合わせて必要な支援があれば、そのような機会を作っていけるようにしていきたい。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	○				その都度に説明を受けている。	今後も保護者の方に必要な情報を分かりやすく説明し、保護者の方が安心できるようにしていきたい。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	○				支援計画やモニタリングなど直接説明を受けている。	保護者の方と情報交換をしていき、子どもの成長を促していきたい。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている			○		ペアレントトレーニングは実施していない。	療育後など保護者に情報交換を行い、家族の方に支援できるようにしていきたい。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	○				療育前後で職員と情報交換をしている。	今後も療育だけではなく、保護者の方と情報交換できるようにしていきたい。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な支援の提供	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	<input type="radio"/>				療育前後で職員と情報交換をしている。	今後も療育だけではなく、保護者の方と情報交換し、少しでも成長につながるようにしていきたい。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	<input type="radio"/>				ピースプラント主催の保護者への勉強会が行われている。	今後も保護者同士でコミュニケーションが取れる機会を作っていきたい。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	<input type="radio"/>				児童発達支援管理責任者やリーダーが主に対応されている。	今後もどの職員でも相談し解決できるようにしていきたい。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	<input type="radio"/>				療育前後で保護者と職員で情報交換できる機会がある。	保護者の方と情報交換をしていき、子どもの成長を促していきたい。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	<input type="radio"/>				ホームページで定期的に発信されている。	保護者の方に分かりやすいようにしていきたい。
19 個人情報の取扱いに十分注意されている	<input type="radio"/>				施錠できる場所に保管されている。	今後も個人情報の扱いには十分注意していきたい。	
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	<input type="radio"/>				災害での対応は定期的に行っている。	今後も定期的に行えるようにしていきたい。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	<input type="radio"/>				定期的に行っている。	今後も職員も意識できるようにしていきたい。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	<input type="radio"/>				楽しみにしている。	今後も子ども達が楽しめるような課題に取り組んでいきたい。
	23 事業所の支援に満足している	<input type="radio"/>				色々挑戦する機会が作れている。	今後も子ども達に達成感を感じてもらえるような支援をしていきたい。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。